

ゆのしらせ

毎月19日・26日は小人無料の日です

片山津温泉総湯では毎月19日を「育児の日」、26日を「風呂の日」として、小人（未就学児）の方の入浴料金が無料になります。これは、こども世代にも温泉に親しんでいただき、温泉文化を継承していくための取り組みとして行っています。今年度より5月9月の小人無料の日は、こども向けのぬるめの湯温での営業を行っております。

発行・企画
加賀片山津温泉総湯公園
5・8・11・2月
(発行月下旬発行)
本紙に関するお問い合わせは
加賀片山津温泉総湯公園
TEL 0761-74-0550
ホームページ
<https://sou-yu.net>

5月9月の 小人無料の日は ぬるめの湯温調整です

今年度より5月9月の小人無料の日は、お子様でも安心して入浴が楽しめるよう、ぬるめの湯温にて営業いたします。「総湯は熱くてこどもにはむかない」とお考えの方も、5月9月の19日・26日は39℃～41度の湯温調整でお風呂を用意しておりますので、安心してご利用ください。総湯は古くから42℃を超える熱めの湯温が習慣化しておりますが、こども世代にも安心して総湯を利用していたいただくための取り組みとして、今年度より実施しております。普段から利用の方には物足りないかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。ぬるめ調整の日は目印として浴槽にアヒルがいますのでご確認ください。なお、10月3月の寒期は設備の保温の関係で通常通りの熱めの湯温調整となります。

ぬるめ湯温調整の 目的について

加賀片山津温泉総湯は加賀市の公共施設として設置されてきた、温泉文化を後世に継承していくことを重要な役割の一つとして行っています。風呂離れが進む現代において、こども世代にも温泉文化にふれ、郷土愛を育む場として、総湯の役割は重要であると云えます。

習慣的に熱い湯温で営業を行ってきた総湯ですが、その習慣により「こどもが気軽に利用できない」という意見もありました。普段から総湯を利用する方にとって、ぬるい湯温は総湯らしさに欠け、少々物足りないと感じるかもしれません。後世に総湯という当地ならではの文化を引き継いでいくためには、こどもの頃から温泉や総湯にふれる機会が重要であり、これからの総湯の存続にも非常に大切であると言えます。

ぬるめ湯温の取り組みは、全世代に親しまれる総湯の新しい形を目指す取り組みの一環です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



6月4日(日)は菖蒲湯まつりに合わせ 「菖蒲湯」を実施します

旧暦の端午の節句に合わせ、毎年開催しております、「菖蒲湯」本年も6月4日(日)に実施いたします。開催当日は森の湯・湯の湯両浴場とも終日菖蒲湯での営業となります。邪気を払い、一年の無病息災と厄払いを祈念して、古くから親しまれてきた習慣の「菖蒲湯」です。一年に一度の実施ですので、是非この機会に菖蒲湯をお楽しみいただき、健康を祈念してみたいかがでしょうか？

7月15日(土) 総湯前芝生広場で 「畔のマルシェ」が 開催されます

7月15日(土)に片山津温泉総湯敷地内の芝生広場にて「畔のマルシェ」が開催されます。30程度のブースが出店されるイベントで、農産物直売・飲食や雑貨の販売、体験など様々なブースの出店が予定されています。イベント当日は混雑が予想されますので入浴での来館の方にはご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。また、施設駐車場が満車になることも予想されます。当日は加賀観光ホテル様の駐車場を臨時のイベント駐車場として開放いたしますのでイベント開催時間中は臨時駐車場がご利用いただけます。「畔のマルシェ」の内容についてはホームページをご確認ください。

長風呂・湯あたりには ご注意ください

片山津温泉総湯は、成分や湯温の関係により、湯あたりを起しやすいお風呂です。体調とご相談いただき長風呂には十分お気を付けいただき、ご利用ください。特に夏場は発汗等により体内の水分が失われがちですので、長風呂による脱水症状のリスクが増加します。当総湯ご利用の際は水分補給にもご留意いただいたうえでご利用ください。

納涼花火の存続に ご協力をお願いいたします

片山津温泉の夏の風物詩、毎夜上がる湖面花火について、コロナ禍で観光業が大打撃を受けたことにより存続の危機にありまます。総湯受付に花火存続に対する支援の募金箱を設置しておりますので、ご支援のお気持ちをお願いいたします。

次回の休館日は 6月22日(木)を 予定しております

機器類メンテナンス、洗浄等のため休館日とさせていただきます。ご了承ください。



畔のマルシェ HP
https://sou-yu.net/hotori_no_marche

